

2023年度 交流会・研修会のご報告

Report① 第2回協力会員交流会

活動の不安や悩みを皆で共有



1月19日(金)に2回目の交流会を開催。22名の協力会員が4班に分かれ、サブ・リーダーを中心に長時間預かりや交通費などについて話し合いました。「経験談を聞いたり、直に相談できて不安や心配事が解消できた」「無理をしないように活動していきたい」などの感想が聞かれました。

Report② フォローアップ研修会

相互理解が深まり活動にプラスに

2月8日(木)、保育士・心理カウンセラーの三浦佑子さんを迎え「現代における子育て支援のあり方とは? ~世代間ギャップを超えて~」の講話を行いました。協力会員18名、依頼会員1名が参加し、アイスブレイクの「笑顔の送り合い」でスタート。子育てに対する意識の変化や考え方、コミュニケーションの取り方、プラスに働く声掛けなど、講師の笑いを交えたユーモアあふれる話に皆さん聞き入っていました。

参加した依頼会員は「もっと頼っていいんだと思った」、協力会員からは「支援者としての理解が深まった」などの感想が聞かれ、充実した研修になりました。



講師の三浦佑子さん



笑顔の送り合いで緊張をほくしました

会員数と活動状況

令和5年度(令和5年4月~令和6年3月末)

会員数	中央区	東区	西区	南区	北区	計
依頼会員	729	569	274	377	425	2374
協力会員	216	201	79	104	142	742
両方会員	13	14	5	7	11	50
会員数 合計	958	784	358	488	578	3166

活動件数	送迎	預かり	受診代行	計
一般	2603	2754	-	5357
病児	1	4	1	6
合計	2604	2758	1	5363

- 主な活動
1. 保育所・幼稚園の終了後の送迎 825件
 2. 子どもの習い事等の場合の送迎 440件
 3. 依頼会員宅での預かり 427件
 4. 保育所・幼稚園の登園前の送迎 410件
 5. 保育所・幼稚園の終了後の預かり 405件

支援のバトンをつなぐために 依頼会員の皆さまへ

お子さまの入学などで子育てが少し落ち着き、時間に余裕ができた依頼会員の皆さま、ぜひ両方会員として登録・活動しませんか? ファミサポへの理解が深い皆さまに支援者としてご協力いただけるのととても心強いです。興味のある方は事務局までご連絡ください。お待ちしております!!

病児の協力医院ご紹介

事務局から当事業へ協力をお願いしている医院です。病児の活動やかかりつけ医が休診のときなどに相談・受診することがあります。

- 三井小児科医院 ☎096-369-4848
熊本市東区尾ノ上4-11-248
- いしばし小児科 ☎096-211-1115
熊本市北区津浦町19-2
- 瀬口医院 ささ小児科 ☎096-357-9475
熊本市南区白藤2-2-38 1F

編集・発行

ファミリー・サポート・センター<熊本>

(男女共同参画センターはあもに内)

〒860-0862 熊本市中央区黒髪3-3-10 2F

☎096-345-3011/096-345-3039

FAX:096-345-3012

(病児対応:096-273-6808 月~土曜 7時~19時)

【開所日時】月~土曜 9時~17時

※日曜・祝日、年末年始(12/29~1/3)は休み

※ホームページにお知らせや最新情報を随時アップします!

アドレス: <https://www.famisapo-kumamoto.info>



ふあみさぽ だより

[Vol.21]
2024年7月発行

発行元:ファミリー・サポート・センター<熊本>

暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。これから夏本番を迎えます。水分補給など熱中症対策に留意し、安全を第一に活動していただきますようお願いいたします。お子さまとの楽しい夏の思い出をたくさん作りたいですね。

会員募集中

ファミサポホームページはこちら!

当事業は、熊本市の子育て支援事業です。子育ての手助けが必要な方、地域で子育てのサポートができる方は、事務局まで気軽にお問い合わせください。ご連絡お待ちしております。

4月から活動時間を設定しました!

熊本市ではこれまで活動時間に制限を設けていませんでしたが、

朝6:00~夜10:00

になりました。

※会則第9条の6に「一般の援助活動は、原則午前6時から午後10時までの間で行うものとする」を追加しております。同封の書面を確認後、保管くださいますようお願いいたします。



お子さまと協力会員の過度な負担を軽減するためのものです。安全・安心な活動のために、ご理解とご協力をお願いします。

各区のサブ・リーダー紹介

サブ・リーダーは協力会員として活動しているほか、毎月実施している当センターの定例会議に参加し、各区の活動報告や意見交換などを行っています。また、交流会のサポートや相談役を担っていただいています。引き続き今年度もよろしくお祈りいたします。

サブ・リーダー紹介

- 〈中央区〉
・岩本 二美さん
・古澤 喜美子さん
- 〈東区〉
・谷口 まつみさん
・福永 千鶴子さん
- 〈西区〉
・西山 幸代さん
- 〈南区〉
・星子 佐知子さん
- 〈北区〉
・星子 立子さん
・和田 政子さん

お世話になります!



ファミサポ
キャラクター
コチネラちゃん

事務局からのお願いです

依頼会員の皆さま

ご紹介後 2~3 日以内に連絡を!

協力会員は連絡を待っていらっしゃいます。すぐに打ち合わせができない・活動しない場合でも必ず早めにご連絡を入れるようお願いいたします。

日曜・祝日の活動キャンセルについて

日曜・祝日に活動を依頼し、当日、体調不良等でキャンセルしたときは、活動予定時間になったら緊急時連絡☎096-273-6808まで必ずご連絡ください。スタッフが電話を転送し待機していますのでご協力をお願いします。

活動の連絡を忘れていませんか?

活動の流れを再確認ください。①協力会員に直接活動を依頼②活動前までに事務局に連絡を入れる、というのがルールになっています。事前に事務局に連絡しないまま活動して事故が起きた場合は、熊本市が加入している保険が適用外になりますのでご注意ください。

協力会員の皆さま

報告書は、活動翌月5日必着でお願いします!

事務局では報告書の内容確認、PC入力後、毎月10日ぐらいを目途に熊本市へ活動報告を行っています。土・日曜、祝日が挟まる場合は早めに投函またはご持参ください。ご理解、ご協力をお願いします。

交流会(イベント)・講習会に参加しませんか？

今年度も会員間のコミュニケーションや横のつながりを深める楽しい交流会を予定しています。学び直しや活動のきっかけになる講座の再受講もぜひ！事務局スタッフ一同、皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

※すべて事前予約が必要です ☎096-345-3011

交流会(イベント)情報

協会員限定 第1回協会員交流会
7月16日(火)10時～

活動の悩みを一人で抱え込んでいませんか？

小さな悩みや疑問であっても話す・共有することで気持ちが楽になり、前向きになれると好評です。「自分だけじゃないんだ」「話せてよかった」という声が多く、年度内に2回開催しています。

会員限定 地区交流会
11月14日(木)10時～

対象/全会員 託児/先着10名
定員/先着20名 材料代/1,000円

素敵なリースを手作りで！

会員の皆さまはどなたでもご参加いただけます。今年度は「クリスマスリース作り」を予定しています。



一般の方 会員の方 全体交流会 申し込み受付は7月5日(金)10時～
8月24日(土)10時～11時30分

親子で工作「新聞紙で動物を作ろう！」

会員間の交流と事業周知を兼ねた年に1度の親子イベント。今年度は菊池市の彫刻家東耕平さんを迎え「新聞紙で動物を作ろう」を企画しました。材料は新聞紙とテープのみ。手順を教わりながら動物などを作り上げます。夏休みの作品づくりにいかがですか？



写真:MAEDA MOTOTSUGU 講師・東耕平さんの作品

第一部/事業紹介

第二部/親子で工作

場所/はもにい2階多目的ホール
対象/熊本市に住む小学生以下のこどもと保護者
参加費/無料
定員/先着40組
準備物/セロハンテープ
※テープカッター付きをお持ちの方は持参ください
申込方法/電話または右記の二次元コードから

写真は過去のこどもの作品例です



協会員へご案内(講習会)

学び直しに

再受講のすすめ



年度内に4回予定 ※第1回は終了しています

9月 12月 3月

協会員講習会は、すべての講座を繰り返し受講できます。特に講習6「安全・事故(小児救急実習)」は、厚生労働省は5年に1度、熊本市は年に1度の受講を推奨しています。ご自身がいつ受講したか分からない場合は事務局まで気軽にお問い合わせください。

始めてみませんか？

集団で託児体験



現在、各区の公民館などに出向き依頼会員講習会を実施しています。その際、託児を担っていただく協会員を募集しています。「まだ活動したことがない方」

「blankがあり不安な方」など、経験豊富なサブ・リーダーと一緒に託児をしてみませんか？これをきっかけに活動をスタートした会員さんが多数いらっしゃいます。ご希望の方は事務局まで気軽にご連絡ください。

Vol.1 Member's Voice



広げよう子育ての輪

子育て家庭を取り巻く環境やニーズは刻々と変化し、多様化しています。当センターでは、それらに少しでも寄り添えるよう支援の輪を広めたいと考えています。今号では里親であり、両方会員でもあるTさんに活動について話を聞きました。

Introduction
両方会員 Tさん

16年前、依頼会員に登録。7年後、自身の子育てが少し落ち着いたタイミングで両方会員になり、現在は園児の送迎と預かりを担っています。5年前には里親として里子を受け入れ、依頼会員としても活動。

Q1 どんな場面でファミサポの支援が必要でしたか？

A. 自分ができないときに、朝、療育までの送迎をお願いしていました。初めは里子を預けることに抵抗があり、事務局に電話をかけるのも勇気が必要でした。

Q2 どういう点が不安でしたか？

A. 協会員に名字が違うことをどう説明するか、変に気を使われるのではないかと、無理解でこちらが傷つくのではないかと不安でした。実際は事務局の方や協会員さんの応援してくださる気持ちが伝わり、安心してお願いできました。

Q3 事前打ち合わせや活動で注意したことは？

A. 里子は発達に課題があったので、事務局で顔合わせをするというルールがあり安心しました。里子が特定されるようなことを他言しないこと、里子に関する情報を不必要に本人に話さないでほしいことを伝えました。協会員さんは守秘義務を守ってくれる方だと感じました。

Q4 会員の皆さんに伝えたいことは？

A. 私は大変な子育てと楽しい子育ては両立できると思っています。家族だけで抱え込まずにファミサポやその他皆さんの制度を頼って、息抜きをしながら子育てを楽しんでほしいと思います。

協会員の皆さん、里親の方から依頼がきたときはあまり大事にとらえずに目の前の親子に寄り添ってもらえれば十分です。いざというときに助けてくれる協会員さんの存在は私たちにとっても心強いからです。

事務局より

利用に際して不安や疑問などがあれば事務局までご相談ください。安心して活動できるよう聞き取りから打ち合わせ、活動をフォローしていきます。特に守秘義務については会則にも掲載している通り厳守を徹底しております。当センターでは日々さまざまな活動が行われています。このインタビューが里親制度への理解を深める一つのきっかけになれば幸いです。

ヒヤリ・ハット事例集

日頃の活動や子育てにお役立てください

日々、相互援助の活動が行われる中、熊本市ではこれまで大きな事故は発生していません。この事例集は会員の皆さまから寄せられた活動や子育て中にヒヤッと、ハットした出来事をまとめたものです。さまざまな場面で起こりうるリスクを未然に防ぐために、ぜひご活用ください。

● 自宅に到着したらシートベルトを自分で外し、運転席のレバーを動かそうとした。

● 車のチャイルドロックをかけ忘れていたため、自分でドアを開けて降りようとした。

● マットレスの上で飛び跳ねてバランスを崩しそうになった。

● お昼寝中に吐いたので抱きかかえて対応したが、見守っていなかったらと思うとヒヤリとした。

● 1歳児がカーペットの上に落ちていた小さな布切れを口に入れそうになった。

● つかまり立ちができるこどもは、コンロのあたりまで手が届くと知り気をつけなければと思った。

● 急に走り出して追いつけず、声をかけても止まってくれなかった。保護者から手をつなぐよう約束してもらった。

● 依頼会員宅での預かりの際、部屋に物が多く安全面を考えて環境を整えてほしいと思った。

依頼会員の皆さま、おこさまに日頃からシートベルト着用の声かけをお願いします

大丈夫だろうではなく「もしかしたら?!!」と思うことが大切です



活動前には必ず会員の手引き11ページの「安全チェックリスト」を確認しましょう!